徒然草

大事を思ひ立たん人は　―品詞分解―

大事　を　思ひ立た　ん　人　は、　去りがたく、　心
格助・対象　タ四・未　婉・体　　係助・区別　形ク・用
に　から　ん　こと　の　本意　を　遂げ　ず　こ
格助・対象　ラ四・未　婉・体　　格助・体修　　格助・対象　ガ下二・未　打・用
して、　さながら　捨つ　べき　なり。　しばし、　こ　の　こ
接助・単接　副　タ下二・終　適当・体　断・終　副　代　格助・体修
と　果て　て、　同じく　は　か　の　こと
格助・用　タ下二・用　接助・単接　形シク・用　係助・区別　代　格助・体修
沙汰しおき　て、　しかしか　の　こと、　人　の　嘲り
カ四・用（サ変・用＋補動）　接助・単接　副　格助・体修　　格助・主格　ラ四・用
や　あら　ん、　行く末　難　なく　したためまうけ
係助・疑問（係）　ラ変・未　推・体（結）　　ク・用　カ下二・用
て、　年ごろ　も　あれ　ば　こそ　あれ、　そ　の　もの　騒がしから
接助・単接　副　係助・強意　ラ変・已　接助・順理　係助・強意（係）　ラ変・已（結）　代　格助・体修　形シク・未
の　こと　待た　ん、　ほど　あら　じ、　もの　騒がしから　ぬ
格助・体修　　タ四・未　意・用　　ラ変・未　打推・用　　形シク・未　打・体
ぬ　やうに　など　思は　ん　に　は、　え　さら　ぬ
打・体　比・用　副助・引用　ハ四・未　婉・体　接助・単接　係助・区別　副　ラ四・未　打・体
こと　の　み　いとど　重なり　て、　こと　の　尽くる　限り
　副助・限定　副　ラ四・用　接助・単接　　格助・主格　カ下二・体
は　過ぐ　める。
係助・強意　ガ上二・終　婉・体（結）

近き　火　など　に　逃ぐる　人　は、　「しばし。」
形ク・体　副助・例示　格助・理由　ガ下二・体　　係助・提示　副
おほやう、　人　も　思ひ立つ　日　も　なく、　べから　ず。　きは　心ある　少し　も　見る　に、　あらまし　の　こと　は　一期
副　　係助・並列　タ四・体　　係助・並列　形ク・用　当・未　打・終　　ラ変・体　副　係助・並列　マ上一・体　接助・単接　格助・体修　　係助・提示
と　や　言ふ。　身　を　助け　ん　と　財　を　命　は　人
格助・引用　係助・疑問（係）　ハ四・体（結）　　格助・対象　カ下二・未　意・終　格助・引用　　格助・対象　係助・提示
すれ　ば、　恥　を　も　顧み　ず、　捨て　て　逃れ去る　ぞ　かし。　ものの　水火　の　攻むる　より　速やかに、　逃れがたき
サ変・已　接助・順恒　　格助・対象　係助・並列　マ上一・未　打・用　　接助・単接　ラ四・終　係助・強意　終助・念押　　格助・主格　　格助・比基　形動ナリ・用　　形ク・体
を　待つ　もの　かは。　無常　の　来る　こと　は、
格助・対象　タ四・体　　係助・反語　　格助・主格　ラ四・体　　係助・提示
も　の　より　も
係助・並列　格助・主格　格助・比基　係助・強意

子、
いときなき　形ク・体
とて　格助・引用
捨て　タ下二・未
捨てがたし　形ク・終
情け、
の　格助・体修
人
の　格助・体修
恩、
君
の　格助・体修
ん　推・終
ざら　打・未
や。　係助・反語
親、
たる　完・体
老い　ヤ上二・用
の　格助・体修
とき、
そ　代
の　格助・体修
ものを、　接助・逆確